

国語採点基準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号		正答 [例]	採点上の注意	配点	
一	1	① あつ	語として採点する。	各	1
		② だま			
		③ かんせい			
		④ ちょうじょう			
	2	余裕		2	20
	3	楽に	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	3	
	4	D		3	
5	草太より先に登りたいという気持ちが、草太より後でも登りきることが大事だという気持ちに変化している。(49字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	3		
6	I	自転車で坂を登りきった (11字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	3	
	II	ウ		2	

問題番号		正答 [例]	採点上の注意	配点	
二	1	① 投	語として採点する。	各	1
		② 歩			
		③ 資源			
		④ 節約			
	2	イ		2	20
	3	反対		3	
	4	はじめ	真理や常識	二つとも合っているものだけを正答とする。	
終わり		示すること			
5	人間の幸福を追求するという意図と、大きな厄災を招いたという結果が逆になった点。(39字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	3		
6	II	三 四 五	全部合っているものだけを正答とする。	2	
	c	パラドックスは、論理や常識を疑い、新しい目で社会や人生を見直す契機となる。(37字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	3	
三	1	ア		2	10
	2	ア		1	
	3	三つの銀の貨幣を夫婦に与えること。(17字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	2	
	4	わるる		1	
	5	I	「主といふ者」のものではない (14字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	
II		銀の貨幣が七つ入った袋を探して手に入れる (20字)			